

一

次の各問いに答えなさい。

問一 次の各文の——線部のカタカナを漢字に、漢字をひらがなに直しなさい。

- 1 算数のハッテン問題に取り組む。
- 2 激しい運動によりコキユウがあらくなる。
- 3 学業にセンネンする。
- 4 キケンな場所には立ち入らない。
- 5 墓穴をほる。
- 6 自然の神秘にふれる。
- 7 頬が紅潮する
- 8 他国からの干渉を警戒する

問二

次の①～④に入る漢数字を答えなさい。また、同じ漢数字が入る□を持つ四字熟語を後のア～エの選択肢からそれぞれ一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 死に一生をえる
- ② 人寄れば文殊の知恵
- ③ 階から目薬
- ④ 聞は一見に如かず

ア □位一体

イ 一石□鳥

ウ 十中八□

エ □戦練磨

二

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

自分の部屋が、散らかっているのか、散らかっていないのかわからない、という人がいます。散らかっていないと思えば、かたづけの必要性も感じなくなります。

I、どこまでやればかたづけが終わるのかわからないという人もいます。キレイというのは非常に**ばくせん**としていて、自分がキレイだと思っても、人はキレイじゃないと思うこともあります。

まずは「整っている状態」がどういう状態かという明確な答えを知ることがかたづけのゴールが見えてきます。ゴールを意識せずに歩き出すと、迷子になります。まずは自分にとってのゴールを知っておきましょう。

「整っている状態」を知る一番の場所はスーパーマーケットです。

あなたは、初めて行ったスーパーでも、チョコレートが欲しいと思えば簡単にチョコレート売場にたどりつくことができます。ほかの商品でも同じです。例えばエンジンが欲しいと思った時には、野菜売り場に行けば**まちが**まず間違いない、エンジンを手に入れることができます。初めて行ったスーパーなのに、どうしてでしょう？ それはルールにのっとって分類され売られているからです。

一方で、私が時々買い物に行く**B**ディスカウントショップは、様子が違います。

お店の中は、多種多様な商品がスーパーとは違う分類方法で並べられ売られています。そのためこのお店では、「こんなモノもある、あんなモノもある」と宝物を探すようにショッピングを楽しむことができますが、あらかじめ欲しいモノがある場合は、なかなか目的のモノが見つからず、探し回ることもあります。どこに何が売られているのかわかりにくい状態の中から、目的のモノを探すのは、とても時間がかかります。買い物は、長くて苦しい、そして辛い**つら**時間となるでしょう。

II、種類別にわかりやすいルールで分類し、**たな**棚に収めていれば、必要なモノを必要なときに時間をかけずさっと取り出すことができます。

ということは自分の部屋が、スーパーマーケットのような状態であれば、モノを探すストレスがなくなり気持ちよく生活ができるということです。

あなたの部屋は、机やたんすの引き出しの中は、どんな状態でしょうか。スーパーマーケットのようにきちんと分類された状態になっていきますか。

III キレイに並んでいても、きちんと分類され、取り出しやすいように収められていなければ、それは整っていない状態といえます。一見かたづいてキレイに「見える」だけの部屋では、整っている状態とはいえないのです。

そんな目線で見ていくと、そこがかたづいていないのか、かたづいていないのかよくわかると思います。「整っている状態」が、具体的にどういう状態なのかわかってもらえたと思います。

それでは次に、自分自身が「かたづけができるようになった！」と胸を^①ハって言える明確なゴールを知っておきましょう。

例えば、「テスト範囲^{はんい}が書いてあるプリントはどこだっけ？」とってから、一、二、三秒と数えるうちに答えが出せますか？ 部屋の中にあるモノすべてが、一、二、三秒以内に「あそこにある！」とわかるようになれば、あなたがかたづけをマスターできた証拠^{しやうこ}です。このようにかたづけの明確なゴールを知ってもらうことで、「かたづけはどれだけやってもまた散らかってしま^②う……」という不毛なものにならずにスみます。

「コンパスどこだっけ?」、「テスト範囲が書いてあるプリントどこだっけ?」

テスト勉強をしようと思ったとき、まず探しモノから始めなければならぬ人がいます。勉強するスペースを確保するためのかたづけから始めなければならぬ人もいます。勉強するスペースを確保するためのかたづけから始めなければならぬ人もいます。

それにかかる五分、一〇分の時間。それは、ほんのちよつとの時間だと思いがちです。

IV、毎日積み重ねていけば、^③相当に無駄な時間を費やしていることになりません。例えば、テスト前の一週間に、毎日、探しモノやかたづけに一〇分費やしているとしたら、七日間で七〇分。もし、部屋がかたづいていけば、一時間以上も、集中して勉強できる時間が確保できます。

高校時代の三年間なら一万九五〇分、つまり X 時間です。それだけ集中して勉強すれば、大学の受験先も、入試の結果も変わってくるかもしれません。

かたづいていない部屋で暮らす人と、かたづいていない部屋で暮らす人では、同じ時間を生きているとしても、^C時間の使い方がま

まったく違うのです。

「探す」時間は、はっきり言ってムダです。そんな時間は早々になくしてしまって、自分の好きなことのできる時間を確保しましょう。探しモノの毎日は、確実にあなたの楽しい時間を奪^{うば}っています。そして、いつも探しモノに追われる人生になってしまいます。

(杉田明子・佐藤剛史『中学生のための「かたづけ」の本』による)

問一 部①～③のカタカナを漢字に、漢字をひらがなに直しなさい。

問二 本文中 I Ⅳ にあてはまる語句として適切なものを、それぞれ次のア～オから選んで記号で答えなさい。

- ア また イ でも ウ つまり エ なぜなら オ たとえ

問三 次の文章は、――部A「『整っている状態』がどういう状態かという明確な答え」を言いかえて説明したものです。次の空白に入る言葉を①は二十一字、②は二十七字でぬき出して答えなさい。(句読点や記号、かぎかっこも字数にふくめます)

①(二十一字)

では整っている状態とはいえず、

②(二十七字)

ができる状態が「整っている

状態」の明確な答えである。

問四 ——部B「ディスカウントショップ」とありますが、「ディスカウントショップ」の良い点と悪い点は何ですか。次の空白部に合うように本文中の言葉を使って六〇字以内で説明しなさい。

多種多様な商品がスーパーとは違う分類で並べられているので

60	40	20

問五 本文中 X にあてはまる数を考えて、答えなさい。なお、小数第一位を切り捨て、答えは整数を漢数字で答えなさい。

問六 本文中 られ と同じ用法として使われている「られ」を次のア～エから一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 塾で難しい問題を質問されたが、答えられた。
- イ 先生が、欠席した生徒に連絡をするために電話をかけられた。
- ウ 先月から入院している友人の状態が案じられる。
- エ アンケートの回答を求められたが、時間が無いので断った。

問七 — 部C「時間の使い方がまったく違う」とありますが、それはなぜですか、その理由を説明したものと最も適切なものを次のア～エから一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 部屋が片付いていると、やる気が出てきてもっと勉強しようという気持ちを持てるようになるから。
- イ 日々の片付けるという作業がないので、片付ける必要がある人よりも多くの時間を確保できるから。
- ウ 片付いていない部屋で暮らす人は、自分の部屋ではなく図書館などで集中して勉強することができるから。
- エ キレイな部屋で暮らす人は、ノートのまとめ方や書く字もキレイなので、勉強がはかどるから。

問八 次のア～エを読み、本文で述べられている「整っている状態」として適切なものには○を、適切でないものには×を答えなさい。

- ア 机の引き出しのなかに多くのモノが収納されているが、引き出しの中に何が入っているのかは調べてみないと分からない状態。
- イ タンスの引き出しの上から順番に、ハンカチ、靴下、長袖、半袖と分けられていて、いつでもすぐに着替えることができる状態。
- ウ 毎日掃除をして、ゴミ一つ落ちていないキレイな部屋だが、勉強机の上には教科書や漫画が積み重なり、すぐに勉強できない状態。
- エ たくさんのモノが収められた倉庫だが、細かく分類がされており、初めて訪れた人でも必要なモノをすぐに見つけられる状態。

三

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

我が家では、モップ以外のレンタル用品は一切使用しないというルールになった。ビデオ、CDは勿論のこと、図書館の本もまずい。試験前でも友人のノートなどは借りず、どうしても必要な場合はコピーをとる。回覧版が届いたら、玄関より奥には持ち込まないこと、外出から戻ったら、まず玄関で靴下を脱いで、すぐに脱衣室の洗濯機に入れること。常に除菌クリナーを持ち歩き、どこに行っても手を洗うこと。それらは、一つ一つ増えていった溝口家のルールだった。

「ちよっと、神経質になりすぎなんじゃないかなあ」

俊子が純の欲しいというビデオを買うことを渋々承知した頃、早起きを強いられた洋平が漸くシャワーを浴びて戻って来た。

「そんなにルール、ルールでがんじがらめにするのもないと思うんだけど」

整髪料が取れて、すっかりぱさぱさの髪に戻った洋平は、いつもよりも一層白髪が目立った。

「家はくつろぐ場所なんだから、帰ってきてまで神経を使いたくはないよな」

「だめ」

「だめ」

「だめ」

三人が同時に口を開いた。洋平は首から下げていた格子縞のタオルで髪を拭いていた手を一瞬止めて、呆気に取られたような、間が抜けた表情で真澄たちを見回した。

「お父さん、家庭っていうのは、最小単位の なんだよ」

純が、いかにも習ったばかりらしいことを言い出す。

「人間は二人以上になったら、 X を形成するのよ。そうしたら、必ずルールは必要になるわ。 X に出ているお父さんが一

番よく分かっているはずでしょう？ たった一人でもルールを守らない人間がいれば、他の全員が迷惑するっていうことも」

続きは真澄が引き受けた。洋平は、ゴルフで日焼けしているが、眼鏡の跡だけ日焼けしてなくて、眼鏡を外しているから余計に間が抜け

た顔に見えた。本当に、こんなぼんやりした顔の父親が、会社できちんと仕事が出来ているのだろうか、不安にさえなる。

「家庭内の小さなルールも守れなかったら、外の社会のルールなんて、もっと守れなくなるんじゃない？」

洋平は大きいため息をつきながら、タオルをテーブルの上に置いた。すかさず俊子が手を伸ばし、タオルの四隅を揃えて畳んでいる。洋平は、もう一度ため息をつく、つまらなそうな顔で立ち上がった。

「真澄は、いつの間にそんなにぴりぴりするようになったのかな。もう少しのんびりした性格だと思ってたけど」

その言葉に、真澄は一瞬むかつししながら、手にしていたご飯茶碗をプレートはんちやわんの格子縞のマス目の中に置いた。

「お父さんは我が家のルールに反対なの？」

「いやさ、そんなに殺菌ばかりして歩いてたら、抵抗力が弱くなるんじゃないかと思ってさ」

昨日の垢と埃を吸い込んだはずのパジャマを再び着ている洋平は、そう言いながらリビングを抜けて、ベランダの窓を大きく開けた。乾いた風が一瞬にして吹き込んで来て、真澄は大慌てで皿の上に手をかざした。

「埃が入って来るじゃないっ。お父さん、窓閉めて！」

洋平は振り向きもせずに、そのままベランダの外に出て窓を閉めた。そこで手すりにもたれて外を眺めている。

「お母さん、よくあんなお父さんと同じ部屋で寝られるわね」

真澄は味噌汁みそじるに手を伸ばしながら、冷ややかに俊子を見た。

「自分のすぐ隣に垢と埃にまみれている人が寝てるなんて、考えただけでぞっとするわ」

「だって、他にあいてる部屋なんかないじゃないの。しょうがないわよ。お父さんだって疲れて帰って来るんだし」

真澄の弁当を作り終え、ウェット・ティッシュと箸を揃えながら、俊子はずまらなような顔で答える。その隣にある箸箱は純のものだった。給食は仕方がないにしても、ロに入れるスプーンだけは自分専用のものでなければ嫌だと言いついて、それ以来弟は箸とスプーン、フォークがセットになっているものを毎日学校へ持って行くようになった。

「お母さんは『しょうがない』で済むかも知れないけど、今朝みたいにお風呂のお湯が落としてないのなんて、もう嫌だからね」

「ねえ、今度の日曜日、父の日だよ」

黙々と箸を動かしていた純が思い出したように顔を上げた。

「どうする？」

「どうしようか」

「お父さんを丸ごと殺菌出来るようなものがあればいいのに」

真澄が小さなボウルに入っているサラダに箸を伸ばしながら言うと、純と俊子は「本当」と言って声を上げて笑った。

「そうじゃなかったら、お父さんを隔離出来る場所とかさ。閉じ込められるカプセルとかさ」

再び風が通り抜けて、父がベランダから戻ってきた。

「お父さんも、ご飯にする？」

俊子が笑いの余韻を残したままの顔で洋平を見る。洋平は、相変わらずつまらなそうな顔でテーブルを見おろした。

「定食屋の食事みたいだな。全部小分けして」

「だって、その方が安心して食べられるじゃない？ 家族といえども別の人間なんだし、皆どこからどんなばい菌持って来てるか分からない

んだから。気兼ねしないで済むんだから、この方がいいのよ」

真澄は澄ました顔で答えると、プチ・トマトを口に放り込んだ。俊子や純は**まだしも**、この父親と同じ皿の料理は食べたくないと思った。

「こんな感じのは、昼飯だけで勘弁してもらいたいんだけどな。何も漬物まで小分けしなくなっちゃって」

「いいのよ。慣れば、こうやった方がバランスよく食べられるっていう利点もあるんだから」

「ごちそうさま」

「ごちそうさま」

洋平がテーブルにつくのと同時に、真澄と純は食事を終えて立ち上がった。背後で「あなた、今夜は」「今夜は、課の女の子の送別会があるんだ」という会話が聞こえる。

「お父さん、絶対にお風呂に入ってよね。汚いままで歩き回ったら、家中にはい菌を振り撒いているようなものだからね」

真澄はくるりと振り返って、父親に念を押すように言った。ホーム・センターで壁紙のクロスも買ったから、今やダイニング全体がチエツ

ク柄がらになっている。様々なチェックの中で、洋平の姿だけが妙みょうにそぐわない。

「あんまり遅いおそようだったら、私、先に寝ねてるわよ」

「ああ」

「その時は、お風呂を一度沸わかしなおしておくから」

「ああ」

父用のプレートに食器を並べながら、俊子は「これ、滑すべるわね。お箸が線と揃つわないわ」と呟つぶやいていた。

(乃南アサ「ルール」による)

問一 部①～③の本文中における意味として適切なものを、あとのア～エの中からそれぞれ一つ選んで記号で答えなさい。

① 呆気あきに取られた

ア 注意が違う方かたにいった

イ おどろいてあきれた

ウ いかりをがまんした

エ 悲しみにくれた

② 気兼ねきげんしない

ア 気をつかわない

イ 気分を害がいさない

ウ 気持きもちが落ち込まない

エ 機嫌きげんがよくない

③ 澄すみました顔

ア 少しむっとした表情

イ 不思議ふしぎそうな表情

ウ 全てに納得なとくいったという表情

エ なんでもないという様な表情

問二 空欄 X に入ると考えられる語句を、漢字二字で本文中より探し出し答えなさい。

問三

(1) — 部A「溝口家のルール」とありますが、本文中から読み取れる「溝口家のルール」ではないものを、次のア～オから一つ選んで記号で答えなさい。

ア どこに行っても手を洗うこと。

イ 帰宅したら玄関で靴下をぬぎ、洗濯機に入れること。

ウ 回覧板は玄関より奥に持ち込まないようにすること。

エ 外出する時には必ずマスクをつけて、他人と距離きょりをとること。

オ 食事の時の食器はプレートの格子縞のマス目に合わせて置くこと。

(2) (1)の選択肢ア～オの中で、コロナウイルスをはじめとした感染症予防の対策として最も有効ではないと考えられるものはどれでしょうか、一つ選んで記号で答えなさい。

問四

— 部B「洋平は、もう一度ため息をつく」とありますが、なぜ洋平はもう一度ため息をついたのででしょうか。次のア～エから適切なものを一つ選んで記号で答えなさい。

ア 息子の純だけでなく、娘の真澄にもルールを守るように言われてしまったため。

イ 真澄に、こんなぼんやりした顔の父親が会社できちんと仕事が出来ているのだろうかと思われたから。

ウ 純が学校で習ってきたばかりらしいことを使って洋平を説得しようとしてきたから。

エ 洋平がテーブルに置いたタオルをすかさず俊子が手に取ってタオルの四隅よすみを揃そろえて畳たたんだため。

問五 — 部C「よくあんなお父さんと同じ部屋で寝られるわね」とありますが、作中では昨晚も洋平はルールを一つ守っていないことがわかっていきます。どのようなルールを守らなかったと考えられますか。本文中の語句を用いて答えなさい。

問六 — 部D「こんな感じ」とありますが、何がどのようなようであることを言っているのでしょうか。次の空白部に合うように、本文中の語句を用いて二十字以内で答えなさい。

20

ことを言っている。

問七 本文中のまだしもを使って短文を作りなさい。ただし、解答には主語と述語を必ず使いなさい。また、本文の語句や文を利用しただけの解答は不正解とします。